

～オホクニヌシと稲羽の素兎～

いなば しろうさぎ



オホクニヌシノカミには兄弟が八十神(大勢の神々)いらっしゃいました。八十神(ヤソガミ)は八上比賣(ヤガミヒメ)と結婚しようとオホクニヌシノカミを従者として率いて、稲羽じゅうじやへ向かいます。※いなば

※稲羽=因幡。現在の鳥取県

傷だらけのウサギと遭遇…



ヤソガミ

『海の水で洗い、風が吹くのに当たり、
任せていなさい』



傷口が痛み
苦しむ!



オホクニヌシノカミ

『水で身を洗って、
がま 蒲の穂を採ってきて周囲に敷き散らし、
その上に寝転んで花粉まどを纏えば傷は癒える』



見事に回復し
元どおりに!



ここで、ウサギのオラクル(神託しんたく)がくだります。

「ヤソガミは、ヤガミヒメと結婚できないでしょう。従者である兄弟オホクニヌシノカミが結婚するでしょう。」